

カンボジア便り

世界遺産「アンコールワット」

正月休みが長かったので、シェムリアップにある世界遺産、アンコールワットへ行ってきました。バタンバンからはバスで 3 時間半。首都のプノンペンからは 5 時間ちょっとかかるので、近く感じました。昨年アンコールワットマラソンで 1 度外側だけ見たのですが、今回はきちんとお寺の中も見学してきました。

アンコールワットは今から約 800 年程前、今のカンボジアや周辺の国を広く治めていた、スールヴァルマン 2 世、という人が建てたお寺です。昔の王様は自分が強いことを表す為に、よく大きな建物を作りました。日本にあるお城もそうです。日本のお城はお殿様が住むところでしたが、この王様はお寺を建てました。ヒンドゥー教という神様がたくさんいる宗教を信仰していた王様は、神様の色々なお話を、アンコールワットの壁にたくさん彫らせました。お寺にお参りに来た人は、それを見て「こんなにすごいお寺を作る王様は素晴らしい！」と王様を尊敬し、さらに町は大きくなりました。その後、王様が変わって仏教のお寺になりましたが 800 年前に建てられたものが残っているなんて驚きですね。左上のカンボジア国旗の真ん中に描かれているように、カンボジアの人は皆アンコールワットを誇りに思っています。

しかし、そのアンコールワットも、カンボジアの内戦や風化により壊れている部分が多く、修復作業が続いています。私が行った時も、入り口にかかる橋の修復になんと日本の大学が参加していました。私が音楽の授業を広めるためにカンボジアに来ているように、知らないだけで色々な日本人が色々な国で働いているんだな、と改めて感じました。

そして、こんなに綺麗でカンボジアの人が大切にしていた物を、簡単に壊してしまう戦争というのは怖いなあ、と思いました。

水面に映るアンコールワット。朝焼けが有名なスポットですが残念ながら曇っていました。



アンコールワットへ行く橋。実は日本の大学が修復工事に協力しています。



修復後。

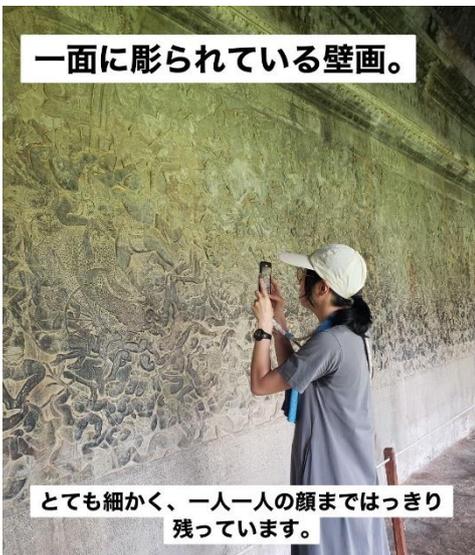


アンコールワットより後に建てられたお寺。

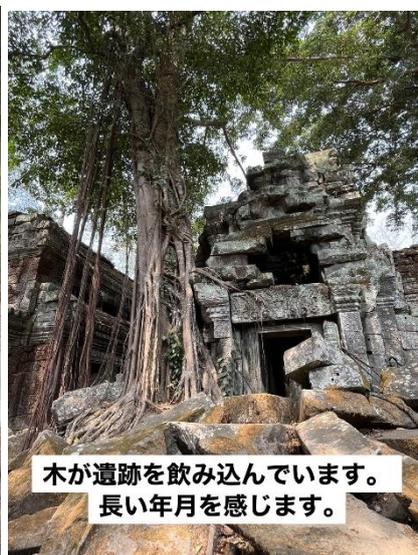


仏教のお寺で、「クメールの微笑み」と呼ばれる大きな顔の彫刻で有名です。

一面に彫られている壁画。



とても細かく、一人一人の顔まではっきり残っています。



木が遺跡を飲み込んでいます。長い年月を感じます。